

令和4年 2月15日(火)

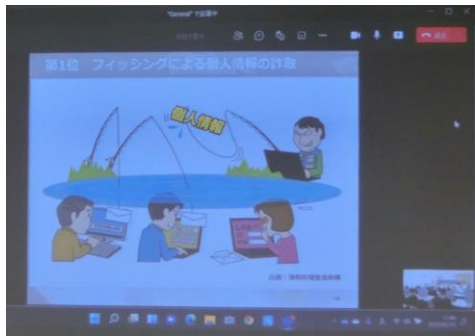
匠の技教室(情報電子科1年生) ～ コンピュータセキュリティの現状について ～

今年度は、新型コロナウイルス感染症のためWeb講演会となりました。講師には昨年に引き続き、株式会社四国テクニカの高橋浩先生で、「コンピュータセキュリティの現状について」の講演をしていただきました。高橋先生は昭和62年度に本校情報技術科を卒業し、プログラマやシステムエンジニアソリューション営業などを経験しており、コンピュータ全般に精通した方です。講演では、情報管理の重要性から情報を守るために情報セキュリティ対策をどのようにすればよいかを、現在の社会で起こっている事件や問題点を事例や動画を通して説明していただきました。その中でも2022年度の「コンピュータセキュリティ10大脅威(個人)」として、1位フィッシングによる個人情報等の詐取、2位ネット上の誹謗・中傷・デマ、3位メールやSMS等を使った脅迫・詐欺の手口による金銭要求など、また、2021年度の「最も危険なパスワードトップ10」、情報漏洩・流出、不正ログイン・不正利用、UTMによるセキュリティ対策、パスワードの安全性・管理、データのバックアップの重要性等、IT技術者を目指す情報電子科の生徒にとって最も重要な内容を学習することができました。

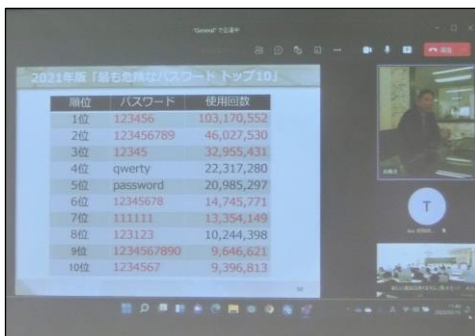
講演の最後に高橋先生は質問を受け、その説明や回答をしていただき、また、IT企業の現状についても先輩として、後輩へのアドバイスをいただきました。今回、Web講演会で高橋先生は、生徒たちの表情を見ながらの講演ができなかったのも、とても難しかったと感じます。しかし、この講演は生徒たちにとって、これから学習していく情報技術関係の内容にとっても参考になりました。お忙しい中、有意義な講演をしていただきありがとうございました。



講師 高橋 浩 先生

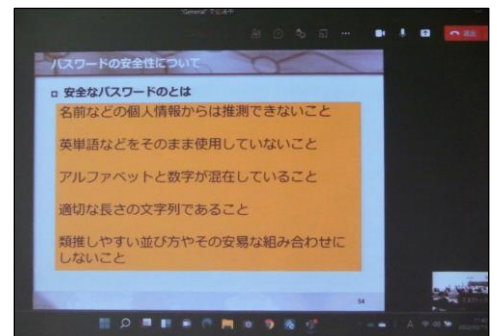


順位	内容	昨年順位
1位	フィッシングによる個人情報等の詐取	2位
2位	ネット上の誹謗・中傷・デマ	3位
3位	メールやSMS等を使った脅迫・詐欺の手口による金銭要求	4位
4位	クレジットカード情報の不正利用	5位
5位	スマホ決済の不正利用	1位
6位	偽警告によるインターネット詐欺	8位
7位	不正アプリによるスマートフォン利用者への被害	9位
8位	インターネット上のサービスからの個人情報の窃取	7位
9位	インターネットバンキングの不正利用	6位
10位	インターネット上のサービスへの不正ログイン	10位



情報セキュリティに関する

講演内容 (一部抜粋)



生徒からの質問に丁寧に説明や回答をする様子